

# ボーリング柱状図

調査名 道路災害復旧工事に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	2	3	3	2	2	7	1	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

シートNo.

ボーリング名	Bor-2-1		調査位置	広島県庄原市東城町川西地先			北緯	34° 53' 34.4760"									
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	平成29年 3月26日～平成29年 3月31日			東経	133° 16' 03.0470"								
調査業者名				主任技師			現代理人			コ ン 定 者			ボーリング責任者				
孔 口 標 高	331.20m		角 度			方 向			地 盤 勾 配			使用 試 錐 機	東邦地下工機D-1型		ハンマー 落 下 用 具	半自動型	
総 掘 進 長	24.00m		度	0°		向	0°		機 種	エンジン		ヤンマーディーゼルNFD-13		ポン プ	東邦地下工機BG-3B		

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 / 測 定 日 付	標 準 貫 入 試 験		原 位 試 験 値	室 内 試 験	掘 進 状 況	掘 進 速 度 cm/時	孔 径 / 孔 壁 保 護	給 水 量 MPa	回 転 数 MPa	送 水 量 MPa	送 水 量 MPa	排 水 量 MPa			
													深 度	打 撃 回 数 / 貫 入 量											掘 進 日 付	掘 進 日 付	掘 進 日 付
331.10	0.10		コンクリート		暗灰	D V d	3		吹き付けコンクリート。 GL-0.1~1.5m付近は砂礫化し、 原岩組織は失われている。 GL-0.1~0.25m付近は褐色化している。	0 [ 0 ]	DM							205	100		0.5	120	0.0	泥水 / 5	0	0	
329.70	1.50					III b	2		GL-1.5m以深、コアは短柱状~柱状となる。 潜在亀裂がやや多い。 GL-1.5~3.5m付近、コアは短柱状が主体。 砂岩主体でコアはやや硬質。 GL-2.1m付近、破砕質で部分的にDクラス。	15 [ 15 ]	CL	3/28 3/30						82	75		0.5	120	0.0	泥水 / 5	2	0	
327.70	3.50					IV c	2		GL-3.5~4.6m付近、風化は少ないが亀裂に沿って岩片化している区間が多い。 GL-4.6~4.9m間弱破砕部。 GL-4.9~5.4m間、短柱状の砂岩。亀裂は45~70°位と縦方向の亀裂が所々ある。 コアはやや軟質な区間が主体。	15 [ 25 ]	DH									96		0.5	120	0.0	泥水 / 5	5	0
326.30	4.90					III b	2			22 [ 22 ]	CM							97		1.0	120	0.3	泥水 / 5	5	0		
325.80	5.40					IV c	2			15 [ 15 ]	CL							93		1.0	120	0.3	泥水 / 5	5	0		
325.00	6.20					D V d	3		弱破砕され、露混り土砂状で斜亀裂発達する。 砂岩主体。45°の層理面の傾斜を示す。 GL-6.6m付近、コアは短柱状~柱状。 45~70°位の亀裂が多い。 GL-7.8m付近亀裂多い。	10 [ 10 ]	D	3/30 3/30							115		1.0	120	0.3	泥水 / 5	3	0	
324.60	6.60					C III b	2			15 [ 30 ]	CM							111		1.0	120	0.3	泥水 / 10	0	0		
321.60	9.60					B II	2		GL-9.6~9.85m付近、砂礫化している。破砕質で軟質化。 GL-9.85~11.5m付近、コアは柱状が主体となる。 9.5m付近少し亀裂あり。 ハンマー打撃にて金属音がする。 45~70°位の亀裂が所々ある。	15 [ 25 ]	DM									105		1.0	120	0.2	清水 / 10	0	0
321.40	9.80					B II	2			38 [ 58 ]	CH							88		0.5	120	0.3	清水 / 10	0	0		
319.40	11.80					III b	1		GL-11.8~16.0m付近は、コアは短柱状が主体。 水平方向と45°傾斜の亀裂が多い。	24 [ 54 ]	CL							90		1.0	120	0.1	清水 / 10	0	0		
316.40	14.80					III c	2		ハンマー打撃にて鈍い金属音。	13 [ 23 ]	CM							102		1.0	120	0.2	清水 / 10	0	0		
315.20	16.00					IV c	2		GL-15.7~16.0m付近、石英脈多く岩片化している区間が主体。	20 [ 45 ]	CL							93		1.0	120	0.1	清水 / 10	0	0		
313.60	17.60					III b	1		GL-16.0~16.35m間泥質部で縦亀裂発達する。 コアは風化少なくやや硬質。	10 [ 10 ]	CM									1.0	120	0.1	清水 / 10	0	0		
312.50	18.70					III c	2		コアは硬質だが亀裂多く短柱状が主体。	22 [ 55 ]	CL									1.0	120	0.1	清水 / 10	0	0		
309.00	22.20					III b	1		80°と高角の亀裂が多い。 ハンマー打撃にて、やや鈍い金属音。 砂岩部は新鮮でやや硬質。 GL-21.7~22m間、亀裂多く少し褐色化する。	18 [ 28 ]	CL									1.0	120	0.1	清水 / 10	0	0		
307.20	24.00					II a	2		GL-22.2m以深、コアは柱状が主体となる。 GL-22.55~22.60m付近、岩片化した質を挟む。 45°の傾斜の亀裂が所々ある。 ハンマー打撃にて金属音がする。	18 [ 42 ]	CM										1.0	120	0.3	清水 / 10	0	0	
										10 [ 10 ]	CH									1.0	120	0.3	清水 / 10	0	0		
										28 [ 75 ]										1.0	120	0.3	清水 / 10	0	0		
										46 [ 85 ]										1.0	120	0.3	清水 / 10	0	0		